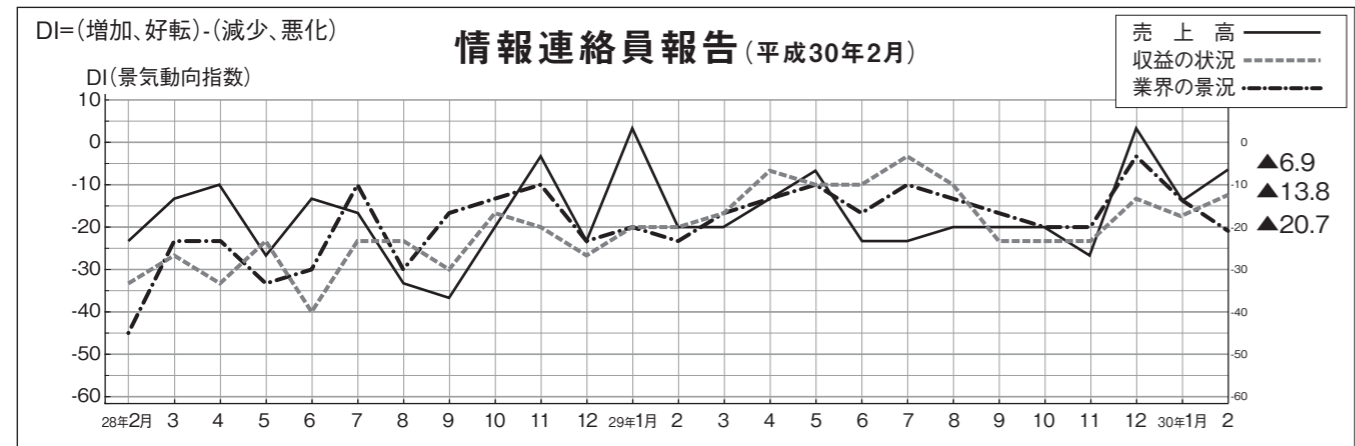


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

2018年2月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

食品団地
2・3月と食品業界は首都圏で商談会等が開催される。県外向け運賃の値上がりや3月から段ボール箱の値上がり等厳しい環境であるが、出展企業は成果が年々上がっており期待されている。

生コンクリート製造
当月の出荷数量は前年同月比79%と大幅な落ち込み。

酒類製造
先月と同様、県外出荷好調により特定名称は順調に増加。

コンクリート製品
出荷数量は前年同月比101%。当月の市況はやや回復したが累計では減少状況が続いている。

水産食料品製造
魚の入荷状況が相変わらず非常に悪い。在庫も少なくなってきて非常に心細い状況。

機械団地
製造品目や業種の違いにより、企業間で好不調のバラツキが見られるものの、団地内は概ね横ばいで推移している。四半期毎の景況調査では、引き続き従業員や熟練技術者の確保が経営課題の上位に挙がっている。

木製品素材生産
山間部の積雪によりスギ、ヒノキともに搬入量は3割減。価格はともに1割程度上昇となった。

刃物製造
受注はあるが供給が思うように出来ない。納期問合せが多く、納期がはっきりしないため、返事に苦慮している状態。

製材
原木が不足・値上がり状態であるが、需要の停滞で製品も不足気味ではあるが値上がりまでには至っていない。

船舶製造
引き続き高い操業度で推移している。

製紙
大手家庭紙メーカーの値上げが新聞紙上で発表された為、中小企業も値上げの機運となっている。国内品が値上げされると海外の安価品がより一層流入し、値上げが浸透しない可能性もある。

珊瑚装飾品製造
2月は年に1回の大会製品会が開催された。毎月の製品会では仕入れを控えている状況が、今年の大会は県内外からの参加があり取引高は前年度同月比140%であった。

印刷
県内需要に関して官公需は前年並み、民需は昨年の観光がらみの特需を差し引いても低調。また県外需要も振るわず前年を下回る。

卸団地
サニーマートの物流センターの移転は、県内日配食品メーカーの物流に大きな変化を与えている。ルート上で納品を行っていた小口店舗への納品の取り止めが起こっている。依然採用難が続いている。

青果卸売
近年にない異常な寒波の影響で野菜・果実ともに作柄の回復が大幅遅れ、結果1月と同様の相場水準となった。特に果実は入荷量が前年比で20%も減少に対して平均キロ単価は10%増にとどまり販売高は大きく落ち込んでしまった。

商店街(四万十市)
全体的に前年度とほぼ同等と思われるが、売上は微減か。もともと閑散期である2月だが、近年にない雪の影響で客足がさらに鈍ったように思われる。3月は2月の反動に期待したい。

生鮮魚介卸売
まぐろは近海物が例年通りあった。カツオの入荷量は少なかった。小物の底引き漁は順調に入荷した。

旅館・ホテル
龍馬マラソン開催時期は好天、温暖の連休であったことで、活気と賑わいがあったが、前後は今冬の異常な寒さが起因し観光客の動きは鈍かった。

各種小売(土佐市)
各商店とも変わり無く、もう少し暖かくなればお客様に動きがでてくるとこれからの期待している。

旅行業
組合クーポン売上は前年同月比131%、今年度の総売り上げは前年比92%。全国大会開催によるクーポン利用により過去最低の売上は免れた。

ガソリンスタンド
米国発の株価暴落を受けて原油価格は下落、ドバイ原油は一時的にバレル当たり60ドルを割り込みこの影響で元売り仕切価格はほぼ2年ぶりの値下げ。全国市況価格はこれまでの転嫁不足を解消するため据置を維持、本県も同様に据置の市況価格となった。

一般土木建築工事
平成30年2月分の公共土木生コン出荷量は前月比94.2%、前年同月比73.8%。平成29年4月～30年2月の累計は前年比79.3%と落ち込んでいる。防波堤など大型工事や耐震・防災関連工事は引き続き発生している。

電気機械器具小売
2月は全体で101.2%、白物家電・エアコン114%、テレビ91.7%、全自動洗濯機105.2%。

電気工事
組合員の施工する電力引込線関連の工事量は前年同月比107%となった。少しずつ良好化しているがこの傾向が続くことを期待したい。

中古自動車小売
2月は組合員にて売上の良いところとそうでないところのバラツキが見られ、相対的には変わりなく低調なまま。

一般貨物自動車運送
組合事業は前年比を若干上回った。2月は燃料価格が値下げとなって一息つけたものの、依然として高値で推移しており組合員は厳しい状態である。

商店街(安芸市)
2月は阪神タイガースのキャンプが行われ、球場周辺は多くの人で賑わったが、商店街への影響はあまりないようであった。

タクシー
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:100.4%、輸送回数:100.4%。当月の実働率は66.8%。

商店街(高知市)
中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上げが107.2%、台数が106.0%。先月後半からの寒波とインフルエンザ流行で来街者は若干減少するものの、旧リロード跡地へのホテルに続き、新店舗が入居するなど「まち」が動くことへの期待感はある。

あなたの挑戦のそばに
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー

MS&AD
三井住友海上
www.ms-ins.com

MS&ADインシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Stripes logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.